国指定重要文化財

会津さざえ堂

（旧正宗寺・円通三匝堂）



寛政８年（1796）郝堂和尚が考案建立したもので六角３層高さ約 16 米、昇降別々のらせん形通路により階段がなく一方通行で上下するという日本唯一、世界にも例のない名建築とされている。

昔は三十三観音を安置したが明治以降は皇朝二十四孝（会津藩道徳教本）の絵額を掲げている。

福島県会津若松市一箕町飯盛山
白虎隊墓所西北側 60 米

https://sazaedo.jp

SAZAEDŌ (Sansōdō)

Sansō-dō, former Shōsō-ji Buddhist Temple (Aizu-Wakamatsu-City 1796). The thirty three figures of Kannon, Avalokitesvara, were installed in the core, around which two ramps come up from both front and rear entrances and are united at the top after making two revolutions.

国指定重要文化財

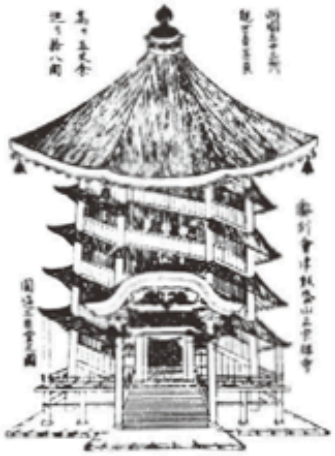
会津さざえ堂

－年中無休－

営業時間　午前８時 15 分～日没まで
（12 月～3 月）午前９時～午後４時まで

拝観料	大人	400 円
	大学・高校生	300 円
	小・中学生	200 円

奥州会津飯盛山旧正宗寺継跡
有限会社 山主飯盛本店
Tel 0242-22-3163　Fax 0242-25-3419



さざえ堂とは

－大日本百科事典（ジャポニカ）項目から－

三匝（そう）堂ともいい秩父三十四所、東国三十三所、西国三十三所の観音札所の本尊を写して一堂に集めた巡礼観音堂であり、**通常三階造りの堂内**をぐるぐる回つて上ってゆくところから俗にさざえ堂と称された。

江戸本所の羅漢寺に1780年（安永9）に建てられたのが最初で北斎や広重の錦絵にも名所として描かれた。関東にはこれに模したものが数ケ所見られ、当時観音信仰が盛んであつたことがわかる。ただし**会津飯盛山旧正宗寺のさざえ堂**は特殊な例で1796年（寛政8）僧郝堂が考案建造、六角塔状の建物の中心部に西国三十三観音像を二つの螺旋状スロープに沿って配置した。つまり正面から上りスロープを参拝しながら頂上に至り、別の下りスロープに移って続いて巡拝しながら裏口に降りるようになっているもので、このような建築は世界にも例を見ない独特なものである。

（執筆者 日本大学理工学部教授小林文次博士）

◎ JR 会津若松駅前からまちなか周遊バス「あかべぇ」で約 5 分「飯盛山下」下車、徒歩 5 分
◎ 磐越自動車道：会津若松 IC より約 15 分



